

「歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男」読書感想文

医療法人すみれ おおくぼ歯科クリニック トリートメントコーディネーター 熊谷 亜季

「カンブリア宮殿」のテレビ放送はもちろん拝見しましたが、その中では映し出されてなかった熊谷先生のこだわりや努力がより詳しくわかる内容でした。本書はただ抑揚のないレポートのような形で書かれているわけではなく、その時の喋り口調であったり会話の内容、筆者の竹田さんの気持ちなども含めて生き生きと書かれていて、書籍を読むというよりも映像を見ているような気持ちで楽しく読ませていただきました。

酒田市の小学校へのこれまでの取り組みについても詳しく書かれており、どのように地域の意識を変えていかれたのかを少しでも知ることができました。予防を始められた当時、日吉歯科に来られる患者さんの考えを変えていくことが本当に大変だったというお話は以前より存じていました。しかしよく考えてみると、望んで治療を受けるために診療所に来られる「患者さん」とはまた違った苦労や努力を、条件なく様々な大人や子供が関わる「学校」との連携についても、きっとされたのに違いないと思いました。大変な長い年月をかけて少しずつ理解を得て、直接日吉歯科の関わる小学校の先生や生徒だけでなく、その後に学校に関わっていく先生や学校医、さらに地域全体に予防歯科の考えが当たり前のものとして広がっているのが本当に素晴らしいと思います。そのような活動をコツコツと続けられる中で、平田牧場さんのような企業が賛同され、これからはますます予防の考えが広く波及していくのだと思います。

富士通さんとの取り組みについても、現状に満足せず、常に未来への可能性を考えて行動されている先生のぶれない志の一つの現れであると思います。もちろん大変な時間も手間もかけてお話を進めてこられていることと思いますが、これは歯科の領域にとどまらず、医療の現場全体においても患者さんに利益をもたらすことのできる画期的な試みだと思います。いけない事かもしれませんが、純粋にこんなシステムが実現するという事にわくわくしてしまうような、今後がどうなるのか楽しみなお話です。

歯科医院で働く身としては、本書を読む上で一番気になるのが、やはりスタッフの皆さんの働く様子です。映像でも少しありましたが、衛生士と患者さんのお付き合いの様子や、日吉歯科で働くスタッフの方々が、どのような経緯や思いを持って日吉歯科に入っているのかなどのインタビュー記事がすごく興味深かったです。また専門医、治療コーディネーター、技工士の皆さんとの関わりや勉強会の様子、休憩中の様子なども描かれていて、日吉歯科で働く人たちの、ある意味ではこれまでベールに包まれていた実際の生活が少しでも垣間見れたような気がして、とても嬉しかったです。

熊谷先生ご自身が、いつもまっすぐに目標に向かい妥協せず誠実に突き進んでおられるから、それに賛同されるスタッフが集まり、日吉歯科もぶれずにここまで成長されたのだと思います。これまで何度かではありますが、オーラルフィジシャンのチームミーティングで拝見した熊谷先生や日吉歯科のスタッフの皆さんの姿は、学びにきている私たちよりも、ずっと高いレベルで一生懸命さや情熱にあふれていて毎回驚きと感激でいっぱいでした。それと同時に、自分たちの意識の低さに恥ずかしい思いが芽生えた事、どうしたらこ

んな風になれるのだろう…と、ますます意欲も湧いた事を思い出しました。また本書を読んで、日吉歯科で働くスタッフの皆さんの日常の様子を少しでも知ることができ、以前感じたものが決して特別な一日だったのではなく、常にそうある自然体の姿勢なのだと理解できました。

本書を読んで、また思いを新たに日々の診療をがんばりたいと思えましたし、自分たちの医院に足りないことや目指すべき目標をしっかりと話し合い、常にぶれない意識を持ってこれからも精進していきたいと思いました。ありがとうございました。